

病害虫発生予察情報

東京都病害虫防除所

向こう1か月(11月)の予報

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

Tel 042-525-8236 Fax 042-529-0943

令和4年度 予報第7号

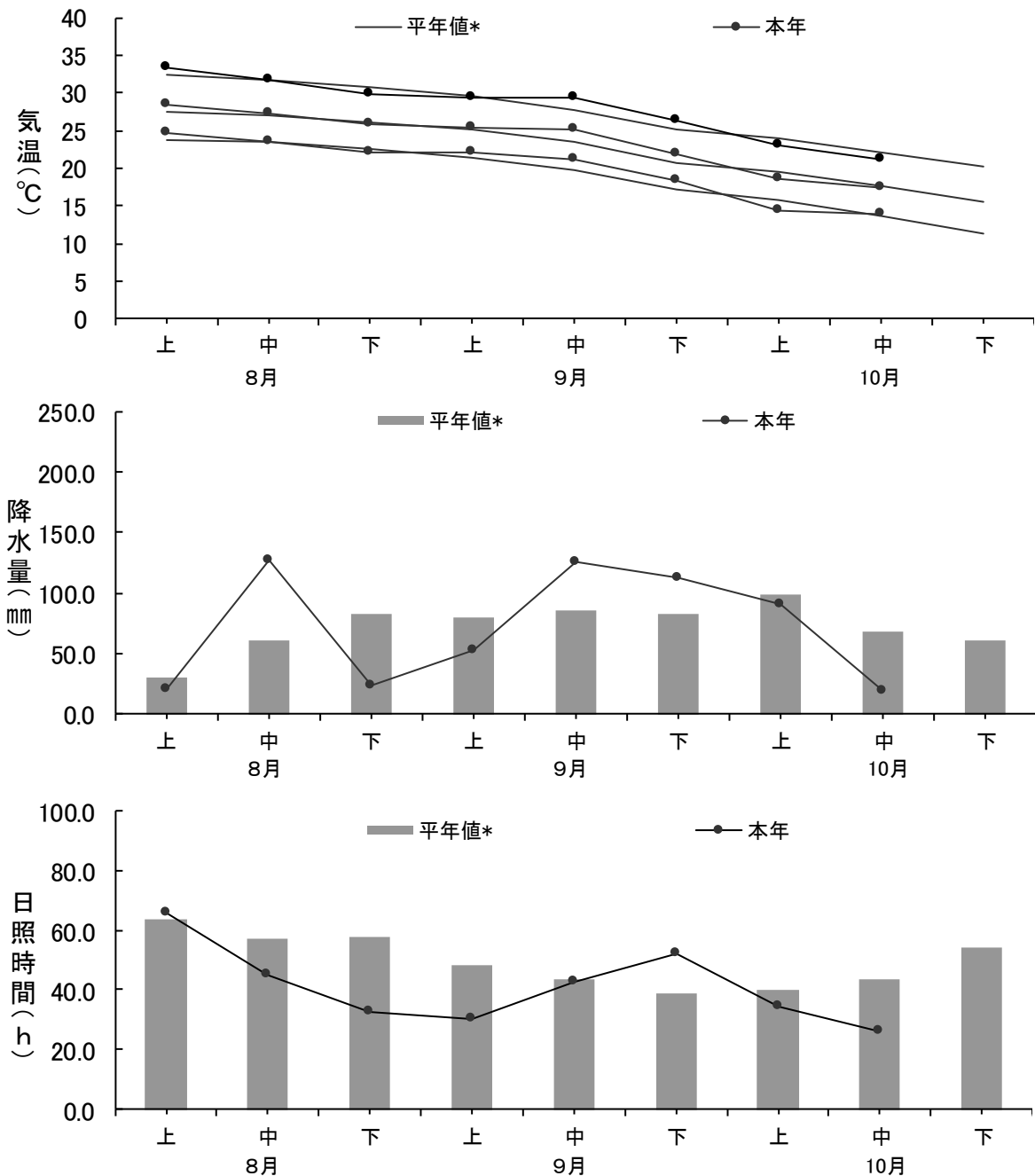
e-mail:

S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】 2022年10月27日 気象庁 地球環境・海洋部発表、関東甲信地方の1か月予報より

確率	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
	気温	40	30	30
	降水量	40	40	20
	日照時間	30	30	40

【気温・降水量・日照時間の経過】 平年値と本年の10月中旬までのデータを示した。(東京都府中市 気象庁気象観測所データ)



* 1991~2020年の平均値

施設野菜、花きの灰色かび病に注意しましょう！！

これからの時期、施設野菜、花き等で灰色かび病の発生が増えてきます。防除指針を参考に収穫前日数に注意し、予防的に防除しましょう。

- ★ 咲き終わった花卉や発病果、発病葉は早目に取り除きましょう！
- ★ ハウス内が過湿にならないよう換気や多灌水に注意して下さい。
- ★ 循環扇や暖房機等を活用し、植物体表面の結露を防ぎましょう！
- ★ 薬剤散布の際は、耐性菌出現防止のため、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行いましょう！

【病害虫発生予報】（各根拠に記した（ ）内記号は発生助長要因の強度を示す）

I 野菜の病害虫

1 キャベツの菌核病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、一部の圃場で発生が多い。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ない～平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 天候に留意し、防除指針に従い予防的に防除する。
- 2) 薬剤の散布にあたっては、収穫前日数に注意する。
- 3) 罹病株は翌春の発生源となるので、早めに処分する。

2 キャベツ、ブロッコリーの黒腐病、黒斑細菌病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、一部の圃場でブロッコリー黒腐病の発生が多い。(＋)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ない～平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い予防的に防除する。
- 2) ブロッコリーは黒腐病に感受性が高いので今後の発生に注意する。

3 ハクサイ軟腐病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、アブラナ科野菜において発生はやや少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ない～平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い予防的に防除する。

4 コマツナ、カブの白さび病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ない～平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 密植を避け、施設では過湿に注意する。
- 2) 防除指針に従い防除する。

5 ネギのさび病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生は少ない。(一)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ない～平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

6 アブラナ科野菜のコナガ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) フェロモントラップにおける誘殺数は少ない。(一)
- 2) 巡回調査では、発生は少ない。(一)
- 3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ない～平年並と予想される。(一)

防除上考慮すべき事項

- 1) 作物ごとに防除指針に従い防除する。
- 2) 収穫後の残渣の処理を徹底して行う。

7 アブラナ科野菜のアブラムシ類

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生はやや少ない。(一)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ない～平年並と予想される。(一)

防除上考慮すべき事項

- 1) 作物ごとに防除指針に従い防除する。
- 2) 薬剤に対する抵抗性が発達している場合があるので、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行う。

8 ホウレンソウのシロオビノメイガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生はやや多い。(＋)
- 2) 予察灯への成虫の飛来は少ない。(一)
- 3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ない～平年並と予想される。(一)

防除上考慮すべき事項

- 1) 寒冷紗などの被覆資材により侵入を防止する。

9 ホウレンソウのモモアカアブラムシ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生は少ない。(一)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ない～平年並と予想される。(一)

防除上考慮すべき事項

1) 防除指針に従い薬剤を散布する。

10 トマトサビダニ（施設）

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生は多い。(＋)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ない～平年並と予想される。(－)

防除上考慮すべき事項

- 1) 今後、春の増加期に被害を出さないため、防除指針に従い防除する。

II 花きの病害虫

1 シクラメンのホコリダニ類

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生は少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ない～平年並と予想される。(－)

防除上考慮すべき事項

- 1) 肉眼による虫体の観察は困難なため、ホコリダニ類による被害（新葉や花蕾の奇形、かすり症状等）が疑われる場合は普及センターや病害虫防除所に相談する。

III 野菜類、花き類の共通病害虫

1 灰色かび病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生は少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ない～平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 施設内の過湿に注意し、罹病株や罹病残渣を施設内に放置しない。
- 2) 防除指針に従い初期防除に努める。
- 3) 薬剤耐性菌の発達を避けるため、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行う。

2 タバコガ類

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生はやや多い。(＋)
- 2) フェロモントラップにおける誘殺数は平年並である。(±)
- 3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ない～平年並と予想される。(－)
- 4) 年間の発生消長は今後減少に向かう。(－)

防除上考慮すべき事項

- 1) 円形の穴が開いている果実や蕾を発見した場合は、本虫による被害を疑う。
- 2) 被害果は圃場内に放置せず、速やかに処分する。
- 3) 防除指針を参考にして防除する。

3 コナジラミ類（施設）

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生は平年並である。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ない～平年並と予想される。(－)

防除上考慮すべき事項

- 1) 加温ハウスでは、今後も発生が継続する可能性がある。
- 2) タバココナジラミはTYLCVを媒介するため、トマト黄化葉巻病が発生している圃場では徹底防除を行う。
- 3) コナジラミ類の物理的防除や発生状況把握のため、圃場に黄色粘着板を設置する。
- 4) タバココナジラミの中には特定の農薬に抵抗性を持った系統(バイオタイプQ)の存在が確認されているため、ローテーション散布を心がける。

次回の予報は令和5年4月です。

東京都病害虫防除所ホームページ

[https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/
nourin/shoku/anken/boujyo/](https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anken/boujyo/)

病害虫の発生予報、発生状況、防除方法などをお知らせしています。